

出典	編著者	発行所	発行年	「通常」「普通」	東京形	並形 (大阪形)	作業局形 (鉄道規格)	山陽形	山陽新形	備考
太政官達 監獄則並図式			M5	型枠 8.3 × 4 × 2.1						各辺が 90%焼き縮めば 7.5 × 3.6 × 1.9 寸
煉化石並石灰入仕様書		東京府建築掛	M5	7.5 × 3.6 × 2.0						(東京市史稿 市街編 54)
蘭均氏土木学 上	Rankine 著、水野行敏訳	文部省	M13	10 × 5 × 3 inch 内外						煉瓦税時代の 1500 cu.in. 煉瓦
『工学会誌』第 57 号「東海道筋並京都大坂巡回記事略」	清水鐵吉	工学会	M19				9 × 4・1/2 ~ × 3 inch			鉄道局用 西尾土族生産所で製造
建築学階梯 卷之上	中村達太郎	米倉屋書店	M21	7.5 × 3.6 × 2.0						
袖珍公式工師必携 初編	田辺朝郎	村上勤兵衛 [京都市]	M21	7.3 × 3.55 × 1.8 ~ 7.8 × 3.8 × 2.0						
建築学提要	千葉末吉	淵点堂 [広島県広島市]	M24	7.6 × 3.6 × 2.0 内外						
建築学講義録	瀧大吉	[合本：建築書院]	M24~29 頃		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		M23 ~ 工業夜学校の講義録、発刊は M24 ~ 29 頃、M42 合本発売
煉化石検査標準の件	鉄道作業局		M24				8・1/2 ~ 9 × 4・1/4 ~ 4・1/2 × 2・1/4 inch			長 9 inch を最大として焼き縮み具合で三等級に分類、ただし厚は 2-1/4 inch 決め打ち
砲台建築仕法通則	陸軍築城部本部	陸軍築城部本部	M27		〔「東京形」使用〕					第 10 条 煉瓦石及石材 煉瓦石は専ら東京形にして其質上等なるものを選用すべし
土工筈蹄	宮城県内務部	宮城県内務部	M28	7.5 × 3.6 × 1.8						
煉化石及モルタル試験報文	農商務技師工学博士高山甚太郎、農商務技師関口寛一郎	農商務省	M28	7.5 × 3.6 × 2.0						「凡そ英国スタッフォールドシャイア形に近似するものとす」スタッフォールドシャイア形 22.9 × 10.9 × 6.5cm
建築学提要	中村達太郎校閲、千葉温也編纂	建築書院	M29		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		
実用土木便覧 [正]	亀井重彦	博文館	M29	7.3 × 3.5 × 1.8						
建築工事設計便覧	瀧大吉・野村一郎校閲、大泉竜之輔編	建築書院	M30	7.5 × 3.6 × 2.0						「焼過ぎ杯は長 7.2 巾 3.4 厚 1.8 までは縮むものなり」
応用土木工学	安達辰次郎校閲・竹貫直次著	博文館	M31	7.3 × 3.5 × 1.9						
高架鉄道用並形煉化石仕様書		鉄道作業局	M34				7.4 × 3.6 × 1.9			長 2 分以内、幅・厚 1 分以内の伸縮を許容
鉄道道路曲線測量表：附・布設法	柴山武之助 著	鉄道時報局	M34				9 × 4・1/2 × 2・1/4 inch (22.9 × 11.4 × 5.7cm)			厚は 1/4 inch 目地を見込み、長手・小口は厚を見込みず煉瓦積み設計
『工業大日本』第 1 巻第 4 号「煉瓦の形状に就て」	大高庄右衛門	大日本窯業協会	M39		7.5 × 3.6 × 2.0 (22.7 × 10.9 × 6.1cm)	7.4 × 3.5 × 1.75 (22.4 × 10.6 × 5.3cm)	7.5 × 3.6 × 1.85 (22.7 × 10.9 × 5.6cm)	7.5 × 3.55 × 2.3 (22.7 × 10.8 × 7.0cm)	7.2 × 3.45 × 1.7 (21.8 × 10.5 × 5.2cm)	
学校建築通解	島田博	末広堂 [新潟市]	M39	7.3 × 3.35 × 1.9						
建築学	坂本雄造	修学堂書店	M41	7.5 × 3.5 × 1.8						
『土木工学』材料施行編、構造設計編	増田淳	成美堂	M41		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		
土木建築技術便覧	清水熊蔵	建築書院	M41	7.8 × 3.8 × 2						
土木設計便覧	戸倉英一郎	修学堂書店	M42	7.2 × 3.3 × 1.9						
				7.4 × 3.6 × 1.9						
				7.5 × 3.7 × 1.8						
実用製図学	神門久太郎	建築書院	M42		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.7		7.5 × 3.6 × 2.5		
建築師要覧	井上繁次郎	博文館	M43	7.5 × 3.6 × 2.0		(7.5 × 3.6 ×) 1.8				「焼過にありては長 7.2、3 幅 3.5 厚 1.9」
工業材料便覧	太田義三郎	修学堂書店	M43	7.5 × 3.5 × 1.9						
工業通覧	本橋弥八	須原屋書店	M44		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.7		7.5 × 3.6 × 2.5		
並形煉化石仕様書並検査方法		鉄道作業局	M44				第一種：7.5 × 3.6 × 2.0 第二種：7.4 × 3.6 × 1.9			
土木建築用材料と市場の関係 (10) (『工業雑誌』第 470 号)	長崎敏音	工業雑誌社	M44	普通型 7.5 × 3.5 × 1.8	7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		東京に於て普通用いらるるもの：7.2 × 3.5 × 1.85 / 焼過物：7.2 × 3.4 × 1.8
土木施工法	鶴見一之、草間偉瑳武著	丸善	M45	普通型 7.5 × 3.5 × 1.8	7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.7			7.5 × 3.6 × 1.5	普通型 7.5 × 3.5 × 1.8
実用土木材料学	長崎敏音	工業雑誌社	T1	普通型 7.5 × 3.5 × 1.8	7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		東京形・大阪形と別に普通型を示す「東京に於て普通用いらるるもの：7.2 × 3.5 × 1.85 / 焼過物：7.2 × 3.4 × 1.8」
土木建築工事請負便覧	畑中健三編	大倉書店	T3	並形 7.5 × 3.6 × 2.0						
				(7.5 × 3.6) × 1.8						
				(7.5 × 3.6) × 2.3						
耕地整理者必携	清水新吉編	松陽新報社 [島根県松江市]	T3	7.2 × 3.5 × 1.8 7.5 × 3.7 × 2.0						
建築工事仕様見積：附・参考図	河津七郎、吉田全三著	大日本工業学会	T4	7.5 × 3.6 × 2.0						
近世建築用材料・上巻	野呂長四郎著	須原屋書店	T4	= 東京形	7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.8		7.5 × 3.6 × 2.3		
土工其他工事方書標準		鉄道省	T6				7.5 × 3.6 × 2.0			
農業土木工学	井村実著	榮華房	T9		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.7			7.5 × 3.6 × 1.5	
建築工事仕様及積算法 上巻	久恒治助著	鈴木書店	T10		7.5 × 3.6 × 2.0					
窯業便覧	大日本窯業協会 編	大日本窯業協会	T11		7.5 × 3.6 × 2.0	7.4 × 3.5 × 1.75				
電信電話線路建築学・下巻	中野直信著	東光書院	T10		7.5 × 3.6 × 2.0	7.5 × 3.6 × 1.7			7.5 × 3.6 × 1.5	
最新工事請負便覧	畑中健三著	大倉書店	T15	7.5 × 3.6 × 2.0						
				7.5 × 3.6 × 2.3				7.5 × 3.6 × 2.0		
				7.5 × 3.6 × 1.8						
実用西洋家屋構造・前編	石川勝志著	大日本工業学会	T14	7.5 × 3.6 × 2.0						
新撰商品学	星野太郎著	瞭文堂	S6	7.5 × 3.6 × 2.0						
窯業便覧 訂補 3 版	大日本窯業協会 編	大日本窯業協会	S9	21.0 × 10.0 × 6.0cm						
商品学概説	佐藤弘著	同文館	S10	7.5 × 3.6 × 2.0						
土木工学ポケットブック 上巻	土木工学ポケットブック編集会編	山海堂	S11	21.0 × 10.0 × 6.0cm	22.7 × 10.9 × 6.0cm	22.7 × 10.9 × 5.5cm		22.7 × 10.9 × 7.0cm		寸・cm を併記
					(7.5 × 3.6 × 2.0)	(7.5 × 3.6 × 1.8)		(7.5 × 3.6 × 2.3)		
購買物品検査規格	海軍艦政本部編	野島好天堂	S13	21.0 × 10.0 × 6.0cm						
米穀倉庫の建築設計	農林省米穀局 編	日本米穀協会	S13	7.5 × 3.6 × 2.0						
実用機械材料	工業教育研究会著	工業教育振興会	S14	21.0 × 10.0 × 6.0cm						
商業調査報告・第 8 輯 (特産富山 2)	富山県立高岡商業学校 編	富山県立高岡商業学校	S15	7.5 × 3.6 × 2.0 (石炭煉瓦製造品)						
化学工業通論	厚木勝基 著	丸善	S16	21.0 × 10.0 × 6.0cm						
建築材料	実業教育振興中央会 著	実業教科書	S18	21.0 × 10.0 × 6.0cm						

●表の見方・注釈 / M38 大高表を基準にし、ほぼ一致するもの (5 厘内外の差) を同色で、1 寸違いのものを同系薄色で着色 / 規格名称とともに寸法を記している場合はその欄に、「わが国では一般に」「通常は」のような形で寸法を掲げたものは左端列に配置 / 鉄道関係の資料に掲げられた寸法はすべて「作業局形」欄に配置 (「作業局形」という名称は大高表と便覧系資料にしか出て来ない)